

‘08-1-20

平成 20 年 1 月度「街づくり委員会」議事録

日時：‘08-1-17（木）19：30～21：00

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席委員：（膳所駅前商店街）森、雨宮、奥村、戸所、上原、原田、寺井、西本、
（平野商店街）杉本、川上、（平野自治連）橋本、中井、竹吉、乾
（大津市）岸辺、川添、安田、 以上 17 名

議事内容：

1. 大津市からの報告（岸辺政策監）

①膳所駅舎橋上化事業

平成 20 年度予算に調査費、測量費 1,460 万円が計上された。また、膳所駅周辺整備も含めた事業への国庫補助を得るべく申請中である。

②竜が丘交差点横断歩道橋設置工事

1 月下旬に第 4 回一般競争入札を実施すべく準備中である。

2. コミュニティバス導入推進に向けての報告と意見交換

昨年 11 月、大津市建設部高木主査を訪問し、運行ルート案の提示を行い、これを基に京大中川教授との面談を打診したが、高木主査より、ルート案の再検討、コストも含めた運用システムの基本骨格を提示するようアドバイスがあった。これを受け、準備委員会で各種調査が実施され、その結果が報告された。

① 京阪バスからの情報（杉本）

- ・ 運行コストの試算に当たっては具体的な運行ルート、走行車両数、運行頻度などの提示がないと出来ない。400 円/km は一般的ではない。
- ・ 継続的な事業とするには委託側でのしっかりとした運用資金計画が必要。特にスポンサーのあり方が重要なポイントとなる。
- ・ コミュニティバス導入検討の窓口となって応援することはやぶさかではない。しかし、スタート時から緑ナンバーで走らせるのは問題。試行期間が必要。
- ・ 路線バスの走行スピードは 15～20km/h。30 km は出せない。
- ・ 「やまびこ」はバス所有者は大津市、運転手、車両メンテが京阪バスである。

②滋賀ヤサカ自動車からの情報（雨宮）

- ・ 9 人乗りのジャンボタクシーを 2 台保有しており、協力はやぶさかではないが、ランニングコストを試算するには、運行ルート、走行車両数、運行頻度などの情報が必要である。

③大津市建設部高木主査からの情報（雨宮）

- ・ 再度、運行計画書、予算計画書の提出を要望された。また、中川先生にはコミュニティバスについての講演会（講習会）をお願いするのはどうかとの

提案も受けた。

以上の報告がなされた後、全員で意見交換を行った。主なものは以下の通り。

- ①バスの運行はバス会社への業務委託で実施することを原則にすべき。
- ②資金確保が第1である。そのための多様なスポンサー作り、運賃設定の多様化など工夫が必要。
- ③自治連の組織を活用した、学区住民への継続的な啓蒙活動の実施が必要。
- ④国の補助制度の中で、活用できるものがないか調査してみる。
- ⑤プロジェクトチームを発足させ、課題と優先順位を整理し、具体的な活動計画を早急に詰める。

3. その他

- ①大津市の主任者研修で「コミュニティバスを導入した膳所駅を中心とした街づくり」をテーマとしたグループがあることを知り、このグループメンバーとの意見交換の場を設けるべく折衝をしてきた。しかし、大津市からはオフィシャルな交流は出来ないとの意向が示されたため、別途やり方を考えることとした。
- ②インターネットホームページ「膳所駅前商店街・ときめき坂かわら版」に「わが街つくる会」の活動内容を紹介して行くことが了承された。委員会の議事録内容を加工したものとするが、記述には行政のチェックも入れ、問題が起こらないよう留意する。

以上